TOSHIBA
Leading Innovation >>>



東芝加湿器 ヒーター加熱式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-J35S

日本国内専用
Use only In Japan

保証書付
保証書はこの取扱説明書の 20 ページについておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告「死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。	⚠注意「軽傷や物的損害の発生が想定されること」を示します。

⚠警告

火災・感電・やけど・けがなどを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）

すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理を依頼してください。

《異常・故障例》

●水もれする。

●本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。

●運転中に異常な音や振動がする。

●コードを動かすと通電したりしなかったりする。

分解・修理・改造をしない

分解禁止

（火災・感電・けがの原因）

修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

次の場所では使わない

禁止

●幼児の手の届くところでは使わない

（感電・けがの原因）

●不安定な場所に置かない

（転倒したときなど、熱湯がこぼれてやけどの原因）

電源プラグ・コードは

指示

●電源は交流 100V の定格 15A 以上のコンセントを単独で使う

（火災・感電の原因）

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る

（絶縁不良による火災の原因）

プラグを抜く

●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

（感電の原因）

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

（感電・けがの原因）

禁止

●電源プラグ・コードが傷んだとき、熱くなったとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

（火災・感電・けが・ショートの原因）

●電源プラグ・コードを加工しない、熱器具に近づけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねて通電しない、重いものをのせない、挟み込まない

（火災・感電・けが・ショートの原因）

●マグネット式プラグにピンなどの金属片やごみを付着させない

（感電・ショート・発火の原因）

図記号の説明

⊘ してはいけないこと（禁止）を示します。	● しなければならないこと（指示）を示します。

⚠警告

ご使用・取り扱いは

指示

●同じ場所で長期間使う場合は、製品下部や床を時々清掃する

（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）

●排水方向より排水する

（本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）

排水するときは、ふた、タンク、送風ガイド、水あかとりフィルターをはずして排水方向より排水してください。

●マグネット式プラグを、乳幼児などが誤ってなめないようにする

（感電・けがの原因）

水ぬれ禁止

●水につけたり、水をかけたりしない

（ショート・火災・感電の原因）

禁止

●使用中や使用直後（運転停止後約60分間）は持ち運ばない　お手入れしない

（熱湯や本体高温部によりやけどの原因）

●吹出口・吸気口やすき間にピン・針金など異物を入れない

（感電・異常動作してけがの原因）

●ノズルにさわったり、手や顔などを近づけない

※吹出し温度は約 65℃

（やけどの原因）。

●乳幼児には付き添いなしでは使わない

（やけどの原因）

禁止

加熱槽などのお手入れのとき、塩素系・酸性の洗浄剤は使わない

（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

火災・感電・やけど・けがなどを防ぐために

電源プラグ・コードは

プラグを抜く

●電源プラグをコンセントから抜くときはコードを持たずに電源プラグを持つ

（コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

（絶縁劣化による火災・感電の原因）

次の場所では使わない

禁止

●スチームが家具や壁などに直接あたるところには置かない

（家具や壁が変形する原因）

●暖房機・テレビなどの電化製品の上で使わない

（転倒したときなどに感電・ショートの原因）

●熱に弱いテーブルなどの上で使わない

（本体底部の熱により変色・変形の原因）

ご使用・取り扱いは

指示

●移動するときはタンクと本体の水を捨て、ハンドルを持ち、傾けないようにゆっくり運ぶ

（水がこぼれて床をぬらす原因）
傾けたりゆすったりしないでください。

●タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする

（お手入れをしないまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因）
体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

禁止

●本体・タンクを落としたり、強い衝撃を与えたりしない

（本体・タンクが破損し、水もれ・感電・ショート・発火の原因）

●本体内部には直接水を入れない

（感電・ショートの原因）

●ノズル・吸気口をふさがない

（変形・故障の原因）

●ノズル・送風ガイドをはずしたまま使わない

（やけどの原因）

お願い

この商品専用のコードセットを使う
また、他の商品への転用はしない
故障の原因になります。

直射日光のあたるところや暖房機の近くに置かない
・タンク内の空気が膨張し、お湯があふれることがあります。
・プラスチック部分が変形、変質することがあります。

湿度の高いところ(85%以上)では使わない
・加湿のしすぎは室内の結露やカビが生える原因になります。
・故障の原因になります。

お手入れはこまめに行う
加熱槽に水あかなどが付着したまま使い続けると、安全装置が働いたり、故障の原因になります。

凍結のおそれがあるときは、タンクと本体の水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水(飲用)以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、変形や故障の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かない
正常に動作しないことがあります。

お部屋の低いところに置く
室内の温度差を少なくするためです。

温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用しない
・直射日光やエアコン・暖房機の温風があたるところ
・窓際など外気の影響を受けやすいところ
・室内の温度が5～35℃でないところ

室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

ハンドル・タンクハンドルで指をはさまない
ハンドル・タンクハンドルを下げるときに本体・タンクとの間に指をはさまないように注意してください。

ハンドル・タンクハンドルを持って本体・タンクを振り回さない
破損、割れ、水もれ等の原因になります。

特長

おまかせ自動加湿コントロール

湿度と温度のＷセンサーで、室温に合わせた快適湿度を自動コントロールします。

きれいな空気と水で加湿

●エアフィルター（プラチナフィルター）

プラチナ抗菌※1 加工を施し、エアフィルターに付着した菌の繁殖を抑制します。

※1 試験機関	（財）日本紡績検査協会
試験方法	JIS L 1902 に準拠
抗菌の方法	エアフィルターに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称	エアフィルター
試験結果	抗菌効果 99.9%
（試験番号	003856-1、003856-2）

●タンク（抗菌タンク）

抗菌※2 加工を施し、タンク内の菌の繁殖を抑制します。

※2 試験機関	（財）新潟県環境衛生研究所
試験方法	JIS Z 2801 に準拠
抗菌の方法	タンクに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称	タンク
試験結果	抗菌効果 99.9%
（試験番号	第 200903679-001-MBA 号）

●タンクキャップ（抗菌タンクキャップ）

抗菌※3 加工を施し、タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。

※3 試験機関	（財）新潟県環境衛生研究所
試験方法	JIS Z 2801 に準拠
抗菌の方法	タンクキャップに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称	タンクキャップ
試験結果	抗菌効果 99.9%
（試験番号	第 200903679-001-MBA 号）

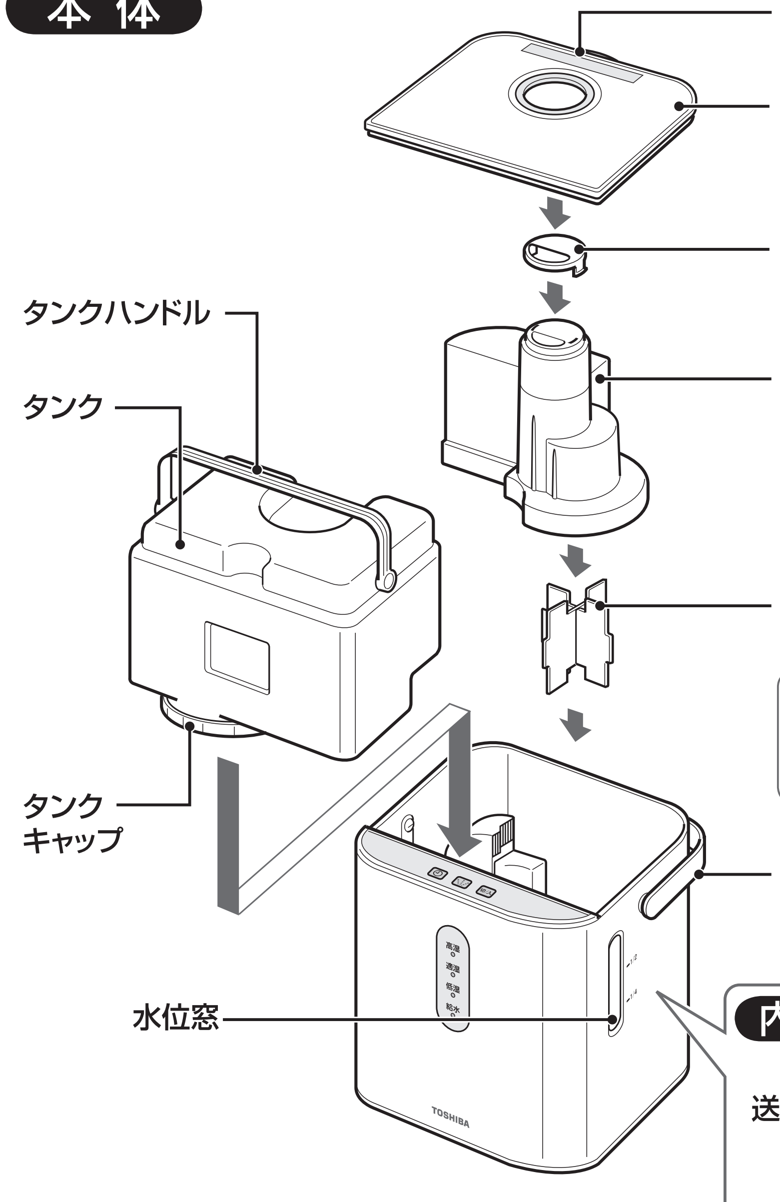
各部のなまえとはたらき

⚠注意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

プラグを抜く

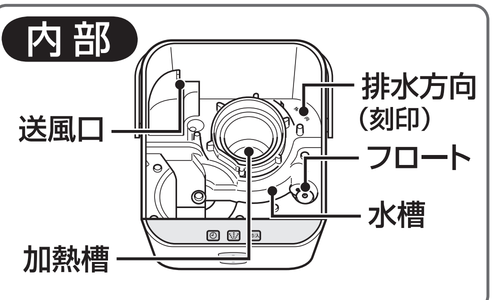
本 体



18 ページ

水道水に含まれている鉄分やカルシウムなどを吸着し、加熱槽や送風ガイドにつく水あかを減らします。

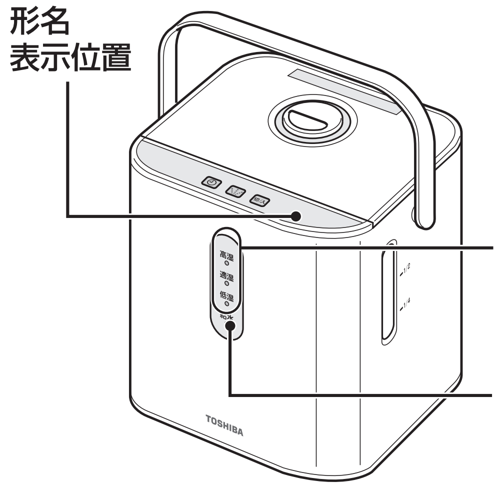
内 部



お願い

●水あかとりフィルターを入れ忘れると、本体内部に水あかが固まってとれなくなったり、故障の原因になるため、必ず取り付けてください。

正 面・右側面



湿度サイン（目安）
お部屋の湿度の目安をお知らせします。
8 ページ

給水ランプ
タンクの水がなくなると点灯します。
10 ページ

操作パネル

切タイマーランプ
設定した時間（1 時間、2 時間、4 時間）が点灯します。
11 ページ

加湿モードランプ
選択した加湿モード（連続、自動）が点灯します。9 ページ

運転スイッチ
押すと加湿運転「入」、再度押すと「切」になります。
また、約 3 秒長押しすると、チャイルドロックが設定されます。
再度約 3 秒長押しすると、チャイルドロックを解除します。
9,11 ページ



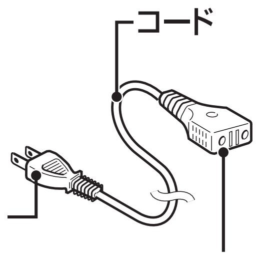
切タイマースイッチ
設定した時間（1 時間、2 時間、4 時間）を運転した後、自動的に停止します。
11 ページ

加湿切換スイッチ
押すたびに「連続」↔「自動」が切り換わります。
9～10 ページ

点字（ウンテン）

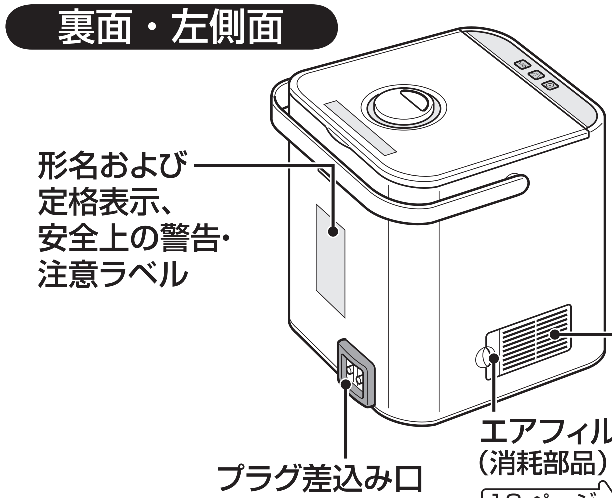
チャイルドロックランプ
チャイルドロック設定中、点灯します。
11 ページ

コードセット



マグネット式プラグ
磁力で本体と接続します。

裏面・左側面

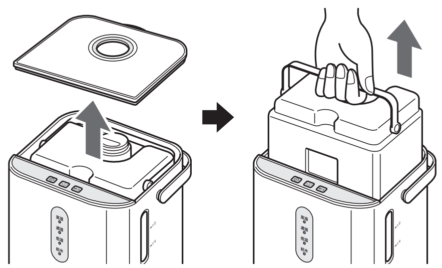


エアフィルター（消耗部品）
18 ページ

使いかた

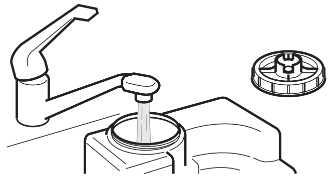
本体の準備

タンクに水を入れる



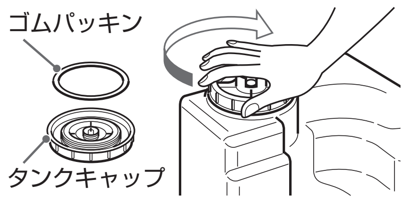
1 ふたをはずし、タンクハンドルを持ってタンクを取り出す

2 タンクを逆さまにして、タンクキャップをはずし、口元まで水道水を入れる



3 ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝についていることを確認し、タンクキャップをしっかりしめる

- 水もれがないか確認してください。
- タンクについた水は布でふきとってください。



4 タンクを本体にセットし、ふたを取り付ける

▶タンク満水で約11時間20分運転できます。
（「連続」運転、室温20℃・タンク満水）

お願い

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたときや、温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合はふき取ってください。
- タンクを落下させたり、衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

湿度サイン(目安)の表示

ランプの点灯でお部屋の湿度(目安)を表示します

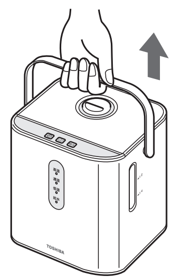
高湿 ●	湿度 約70%以上のとき
適湿 ●	湿度 約40〜70%未満のとき
低湿 ●	湿度 約40%未満のとき

- 湿度サイン表示は目安です。
  同じ室内でも場所により湿度が異なるため、お部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 運転中以外は表示しません。
- 運転開始から30分程度、湿度サインの表示がお部屋の湿度と異なる表示をする場合がありますが、徐々に室内湿度に近づいてきます。

持ち運ぶときは

タンクと本体内部の水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにゆっくりと運んでください

（本体内部の水の抜きかた 14ページ）



- 水を抜かずに持ち運ぶと、傾いたときに水がこぼれることがあります。

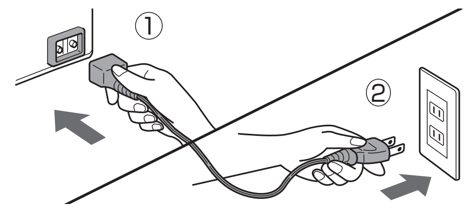
お願い

- **水平な安定した場所においてお使いください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザーがなり、加湿モードランプが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体をおこしてこぼれた水をふき、本体が乾いてから使用してください。**

加湿運転のしかた

1 コードセットを接続する

①マグネット式プラグを本体背面のプラグ差込み口に斜めにならないように確実に接続してください。
②電源プラグをコンセント（交流100V）に確実に差し込んでください。

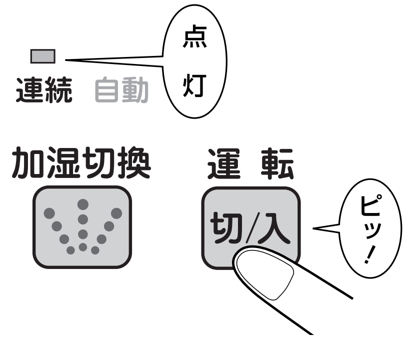


2 運転 切/入 を押す

▶加湿モードランプの「連続」ランプ（緑色）が点灯し、吹出口から弱い風が出ます。

スチームが出るまで約5分かかります

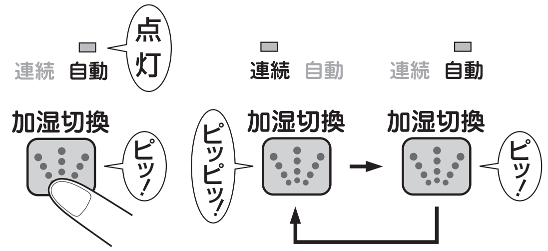
- 使いはじめや本体内部のお手入れをしたあとは、すぐ運転はしません。運転スイッチを押したとき、給水ランプ（赤色）が点灯している場合はしばらくお待ちください。給水ランプ（赤色）が消灯し、加湿モードランプ（緑色）が点灯して、運転を開始します。
- お部屋の温度や湿度によっては、スチームが見えにくい場合があります。



加湿モードを「自動」にするときは

加湿切換 を押す

▶加湿モードランプの「自動」ランプ（緑色）が点灯し、加湿を開始します。



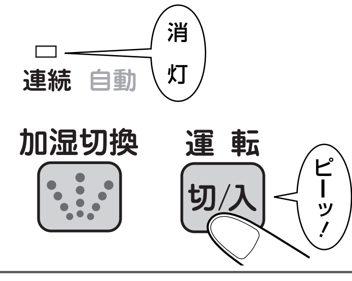
お知らせ

使いはじめは、多少のにおいが出ることがありますが、ご使用にともない出なくなります。

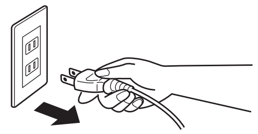
3 運転を止めるときは

運転 切/入 を押し「切」にする

▶設定した加湿モードランプが消灯します。
▶約10秒間送風後停止します。



4 電源プラグを抜く



お願い

- 運転を停止してから30秒以上たってから電源プラグを抜いてください。

（つづく）

タンクに水がなくなると

自動的に運転を停止し、給水ランプ（赤色）の点灯と「ピー、ピー、…」と5回のブザー音でお知らせします。

続けて使うとき



● タンクに水を入れて本体にセットしてください。
給水ランプ（赤色）が消灯し、加湿モードランプ（緑色）が点灯して、再運転します。

お願い

●本体の加熱槽と水槽の中には熱湯が少し残っていますので、倒したり、傾けたりしないでください。
●タンク底面に結露した水滴がついている場合は布でふきとってください。

加湿切換について

●加湿モード「自動」とは

湿度と温度のWセンサーのはたらきで、お部屋の湿度を室温変化に応じて自動的にヒーターを制御し、下表のように湿度コントロールします。ヒーターが止まっている場合でも**ファンモーターによる送風は停止しません。**

室 温	約18℃未満	約18～23℃未満	約23℃以上
湿 度	約60%	約55%	約50%

●「自動」運転の場合、運転開始から15分間は、お部屋の湿度に関係なく加湿をします。その後、設定された湿度にコントロールします。
●加湿モード「自動」では、設定された湿度にコントロールするため、スチームが出ないことがあります。

●加湿モード「連続」とは

お部屋の湿度に関係なく連続して加湿します。

お知らせ

● 給水ランプが点灯しているときは運転スイッチ以外の操作は受け付けません。給水してから操作してください。
● 運転スイッチを「切」にしたあと電源プラグ・マグネット式プラグを抜かずに「入」にするとメモリー機能により、「切」にする前の加湿モードになります。（ただし、切タイマーは記憶されません）
● 運転中に停電したときや、運転スイッチを「切」にしたあと、電源プラグ・マグネット式プラグを差し直したとき「入」にすると「連続」運転になります。
● 本製品は適用床面積（木造和室～6畳［～10m²］プレハブ洋室～10畳［～16m²］）を湿度60%に維持する製品です。［JEM 1426 必要加湿量の目安による］
● 適用床面積以内でもお部屋の壁、床の材質、換気の度合、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合がありますが、異常ではありません。
● 同じお部屋でも空気の流れが良いところと悪いところでは湿度が異なることがありますので、お部屋の湿度計と本製品の湿度コントロールが異なる場合があります。

切タイマー運転のしかた

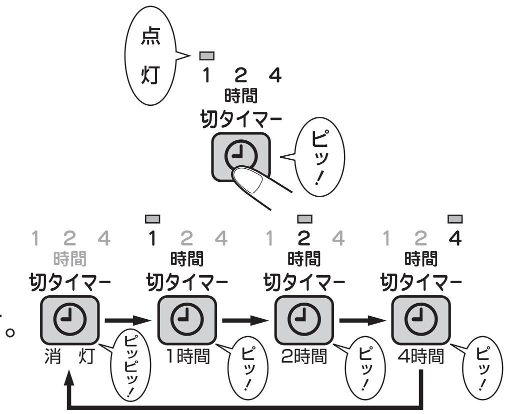
設定した時間を運転したあと自動的に運転を停止します

切タイマー（ボタン）を押し、切タイマー時間を設定する

（1時間、2時間、4時間の設定ができます）

▶ 押すたびに切タイマーランプ（緑色）が右図の順序で点灯します。
▶ 時間の経過とともに切タイマーランプ（緑色）が切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。

設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。



お願い

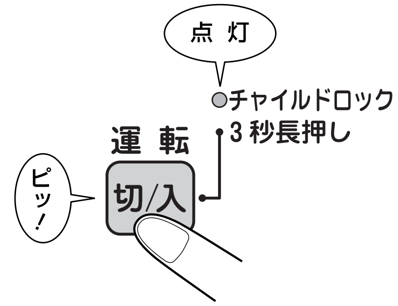
● タイマー時間を変えたいときは、切タイマースイッチを押してお望みの時間に合わせてください。新たに合わせた時間からタイマーが動作します。
● 切タイマー運転をする場合、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転を停止し給水ランプが点灯します。給水ランプ点灯中でも、タイマーはカウントを継続しているため、タンクに水を入れ、本体にセットすると加湿運転を再開し、設定時間が経過すると自動的に運転を停止します。（切タイマー運転中に水がなくなった場合は、給水ランプが点灯しますが、ブザーは鳴りません）
● 給水ランプが点灯しているときは、タイマーを設定できません。給水してから設定してください。

チャイルドロックの使いかた

お子様のいたずらや誤操作を防ぎます

運転中に 運転［切/入］ を約3秒間長押しする

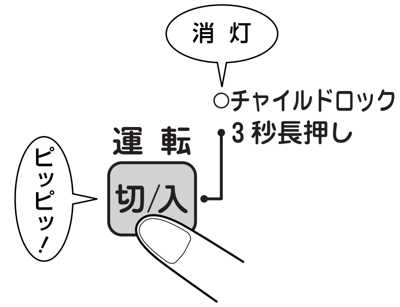
▶ チャイルドロックランプ（橙色）が点灯し、運転停止以外のすべての操作ができません。
（安全のため運転スイッチを押すと運転が停止します）
●設定後に運転スイッチ以外のスイッチを押すと「ピッピッピッピッ」とブザーがなり、チャイルドロックランプが点滅し、操作ができないことをお知らせします。
●運転停止中に運転スイッチを長押しすると、チャイルドロックランプが点灯し、すべての操作ができなくなります。



●解除するときは

再度 運転［切/入］ を約3秒間長押しする

▶ チャイルドロックランプが消灯します
● 電源プラグを抜いたときやマグネット式プラグがはずれた場合はチャイルドロックは解除されます。



お手入れのしかた

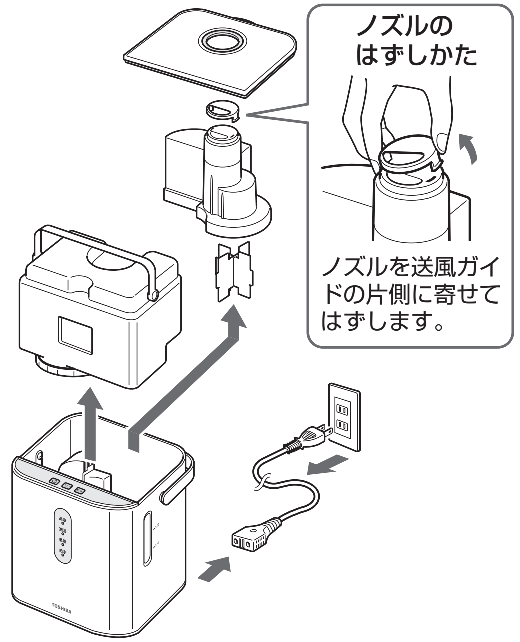
⚠警告

プラグを抜く：**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**（感電の原因） ぬれ手禁止：**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**（感電・けがの原因）	禁止：**使用中や使用直後（運転停止後約60分間）は、持ち運ばない お手入れしない**（熱湯や本体高温部によりやけどの原因）	禁止：**加熱槽などのお手入れのとき、塩素系・酸性の洗浄剤は使わない**（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

●お手入れのしかたに従いお手入れして、いつも清潔にお使いください。

お手入れの手順

お願い
●お手入れをせずに使い続けると、本体内部に水あかが固まって取れなくなったり、故障の原因になりますので、早めにお手入れしてください。



準備

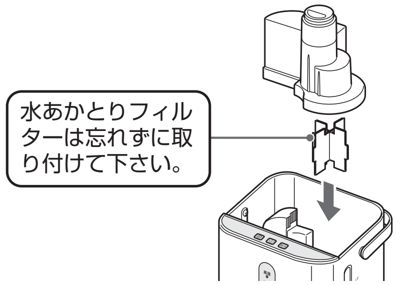
1. コードセットをはずす。
2. 本体内の部品をはずす。

各部のお手入れ

13、14、15ページ参照

お手入れが終わったら

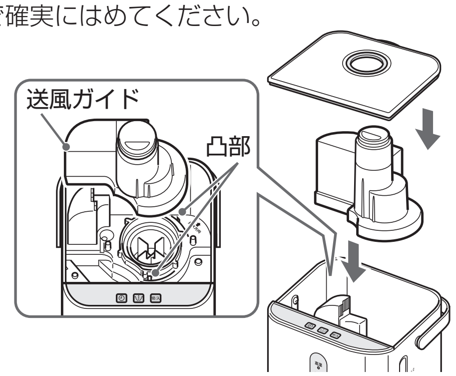
1. 部品を元通りに取り付ける



2. コードセットを接続する。

送風ガイドと本体のセットのしかた

●凸部(2ヶ所)の内側にはめて入れる。
※奥まで確実にはめてください。



ノズル・送風ガイド（1週間に1回程度）

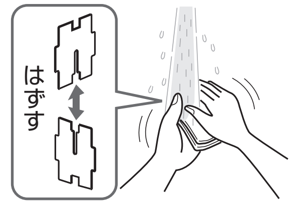
スポンジなどで水洗いし、水あかをとる



水あかとりフィルター（1週間に1回程度）

やわらかくなるまで手もみ洗いし、水あかをとる

本体に入れるときは、形をもとどおりに整えてください。



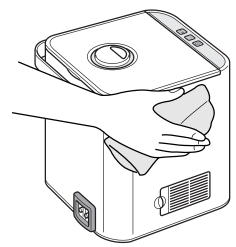
水あかとりフィルターをはずしたまま使用しないでください。
●水道水に含まれる鉄分やカルシウム(茶色や白い固まり)が加熱槽に固まって取れなくなり、加湿量が低下します。また、送風ガイドがはずれにくくなります。
●沸騰音が大きくなります。

水あかとりフィルターは消耗部品です。型くずれしたり、破れたりしたら交換してください。
破棄するときは、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。（材質：ポリエステル）

本　体（汚れたら）

やわらかい布を水にひたしてかたくしぼり、汚れをふきとったあと、からぶきする

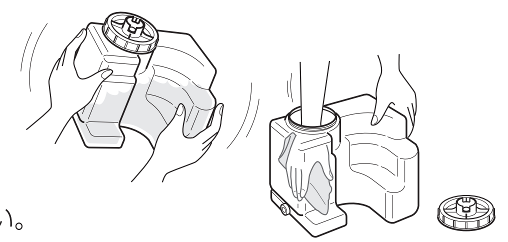
汚れがひどいときは、中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。水でしぼった布で洗剤が残らないよう十分ふきとってください。



お願い
●中性洗剤溶液は、洗剤容器に表示してある分量で水にうすめてください。
●変質・変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザーなどは使わないでください。
●化学ぞうきんを使うときは、その注意書にしたがってください。

タンク内（給水ごと）

1. タンクに残っている水を捨てる
2. タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめてよく振り洗いし排水する
   ※2～3回くり返す
   ●汚れがひどい場合は、タンクの中を直接洗ってください。

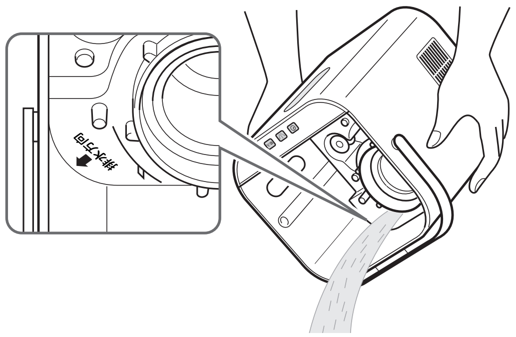


（つづく）

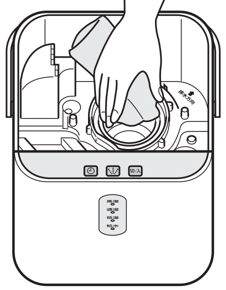
加熱槽・水槽（1ヶ月に1回程度）

お手入れのしかた

1. 本体内部の水を本体に刻印されている「排水方向」の矢印側に傾けて捨てる。



2. 水にひたしたやわらかい布で水あかをふきとる。
落ちない場合は、歯ブラシのブラシの部分を使って落としてください。（歯ブラシの柄の部分は使用しないでください）



お願い

- 排水方向から排水しないと内部に水が入り、故障の原因になります。
- プラグ差し込み口に水がかからないようにしてください。故障の原因になります。
- 加熱槽には、金属へら、金属たわし、金属ブラシ、クレンザーなどを使わないでください。フッ素樹脂加工面に傷がつき、故障の原因になります。
- 本体内部のお手入れには洗剤を使わないでください。吹出口から泡が吹き出す原因になります。
- フロートにゴミが付着すると正常に動作しないことがあります。確実に取り除いてください。
- 加熱槽の底穴の部分はゴムホースです。棒などでつつかないでください。

加熱槽の水あかが落ちにくいときは

1. タンクに水を入れ満水にし、本体にセットして、コードセットを接続する。
2. 運転スイッチを押し、給水ランプが消灯していることを確認してから、運転スイッチをもう一度押し、いったん運転を止め、コードセットをはずす。
3. ふた、タンク、送風ガイド、水あかとりフィルターをはずす。
   - 水あかとりフィルターは、クエン酸洗浄できません。
4. 加熱槽にクエン酸約10g（小さじ2杯）を入れ、水あかとりフィルターをのぞいた部品を元通りに取り付ける。
   - クエン酸の濃度が高くなると、故障の原因になります。10g以上入れないでください。
5. コードセットを接続し、約90分運転する。
6. 本体を冷ましてから（運転を停止してから約60分後）、コードセットをはずし、本体内の部品をはずし、排水方向から水を捨て、やわらかい布で水あかをふきとる。
7. 再度タンクを本体にセットし、加熱槽に水がたまってからタンクを取り出し、排水する。これを2〜3回繰り返す。
   - 排水後、加熱槽や、加熱槽底穴部のホース内部に水あかが残っていないか確認してください。水あかなどが残っている場合は、なくなるまで繰り返してください。

お願い

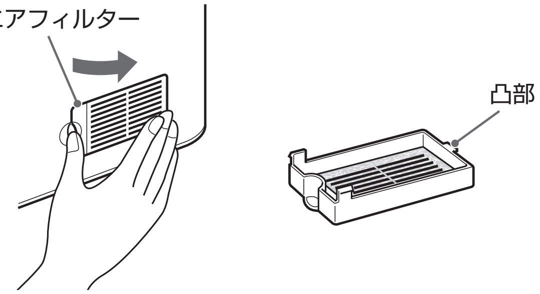
- クエン酸のにおいが発生するため、換気扇に近いところで換気をしながら行ってください。
- タンク内にもクエン酸の成分が残るため、必ずタンクの水を入れ替えてください。
- クエン酸は薬局で市販されていますが、入手できない場合はお買い上げの販売店でお買い求めください。（部品名：ポット洗浄クエン酸 / 部品コード：32389024）

※ クエン酸は、食品添加物につき、食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

エアフィルター（1ヶ月に1回程度）

汚れがひどくなるとスチームの出かたが弱くなります。

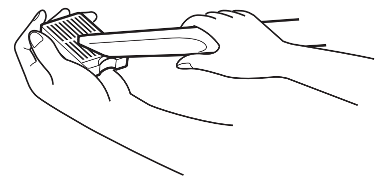
1 エアフィルターを取りはずす



2 エアフィルター表面のほこりを掃除機で吸い取る

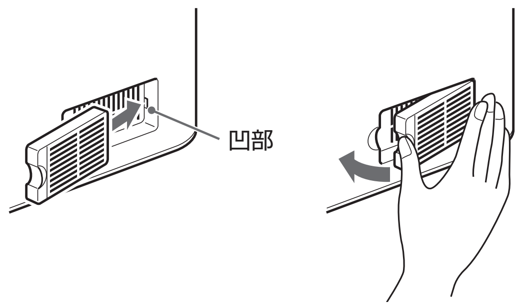
掃除機の吸込力を弱くしてお使いください。

- 水洗いはしないでください。エアフィルターの効果が低下します。



3 エアフィルターを取り付ける

エアフィルターの凸部を本体凹部に差し込む。

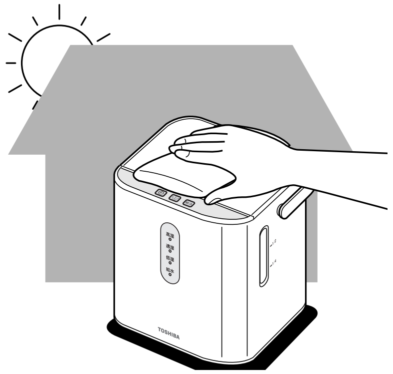


お願い

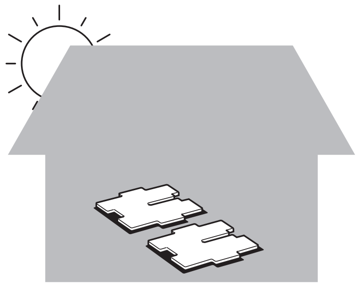
- エアフィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

保管のしかた

1 お手入れのあと、本体の水をふきとり、日かげで乾かす。

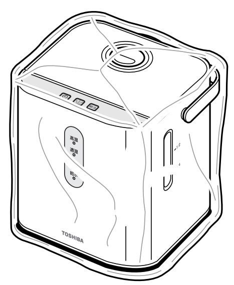


2 水あかとりフィルターは水をよくきり、日かげで乾かす。



メモ
湿ったまま保管するとカビの原因になります。

3 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところに保管する。



故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	コードセットは接続してありますか。	正しく接続してください。	9
	チャイルドロックが設定されていませんか。	チャイルドロックを解除してください。	11
スチームが出ない	給水ランプ（赤色）が点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水してください。	8
	運転スイッチを「入」にした直後ではありませんか。	スチームが出るまで約5分かかります。	9
	運転スイッチを「入」にし、約5〜10分後にノズル（吹出口）上部約30〜40cmに鏡をあててみてください。	鏡がくもればスチームが出ています。お部屋の温度や湿度が高いとスチームが見えにくい場合があります。	－
スチームの出が悪い	エアフィルターにほこりがつまっていませんか。	エアフィルターの掃除をしてください。	15
	加湿モード「自動」ではありませんか。	設定された湿度にコントロールするため、スチームが出ないことがあります。	－
ボコボコ等の沸騰音がする	－	水が沸騰するときの音で、異常ではありません。	－
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	－	運転スイッチを「切」にしても送風ファンは運転を続けます。約10秒間送風後自動的に止まります。	9
加湿モードランプ「自動」が点灯しているのに加湿が弱い	－	お部屋の湿度が設定された湿度以上になっているため、送風運転をしています。さらに加湿したい場合は「連続」運転を選択してください。	10
運転停止以外、操作できない	チャイルドロックが設定されていませんか。	チャイルドロックを解除してください。	11
加湿切換ができない 切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水し、給水ランプが消灯してから設定してください。	10 11
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	10
	窓、戸を開けていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	－
水がもれる	排水方向以外から排水していませんか。	排水方向から排水してください。	14
	タンク底面に結露した水滴が落ちたものではありませんか。	結露している部分を布でふきとってください。	10
ブーン音がする	－	送風ファンが回転しているときの音で異常ではありません。	－
湿度サインの表示が部屋の湿度計の表示と違う	－	同じ部屋でも空気の流れや、温度差などにより湿度が異なることがあります。湿度サインは目安としてお使いください。	10
タンクの表面が結露する	－	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などでふきとってください。	10

上記に従って調べていただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

仕 様

形　　名	KA-J35S
電　　源	交流100V　50-60Hz共用
消 費 電 力	加湿モード「連続」時320W
加　湿　量　※1	約350ml/h
タンク容量	約4.0L
連続加湿時間(目安) ※2	約11時間20分
適用床面積(目安)	木造和室　～6畳 (～10m²) プレハブ洋室 ～10畳 (～16m²)
外 形 寸 法	幅264mm×奥行257mm×高さ282mm（ハンドル含む）
質　　量	約3.3kg（コードセット含む）
付　属　品	コードセット(マグネット式プラグ、コード有効長約1.4m)、 水あかとりフィルター、エアフィルター

※1、※2　室温20℃、タンク満水、加湿モード「連続」の場合です。

●運転停止状態の消費電力は約0.9Wです。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

●お手入れをしても汚れが落ちなくなったり、破れた場合は交換してください。

部品名	形名	部品コード
エアフィルター (東芝テクノネットワーク(株)扱い部品)	KA-J35S(W)	46442637
	KA-J35S(L)	46442638
水あかとりフィルター (東芝テクノネットワーク(株)扱い部品)	KA-J35S(W),(L)	46442613

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　**022-774-5402**（通話料：有料）

FAX　**022-224-6801**（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書(一体)

●保証書は、この取扱説明書の20ページに記載されております。

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●**保証期間はお買い上げの日から1年間です。** ただし、水あかとりフィルター、エアフィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

●加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。

●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 17ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

● 水もれする。
● 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
● 運転中に異常な音や振動がする。
● コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

形名	KA-J35S			
★お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	〒□□□-□□□□		
	電話	市外	市内	番号 呼
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名 電話			

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社 家電事業統括部

〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-CLCA (TG)